

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	武蔵野音楽大学
設置者名	学校法人 武蔵野音楽学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
音楽学部	演奏学科	夜・通信		46		46	13	
	音楽総合学科	夜・通信				46	13	
音楽学部	器楽学科	夜・通信		11	2	13	13	
	声楽学科	夜・通信			2	13	13	
	作曲学科	夜・通信			2	13	13	
	音楽学学科	夜・通信			2	13	13	
	音楽教育学科	夜・通信			2	13	13	
	ヴィルトゥオーソ学科	夜・通信			4	15	13	
	音楽環境運営学科	夜・通信			4	15	13	
(備考) 演奏学科・音楽総合学科は平成 29 年度より学生受入れ。器楽学科・声楽学科・作曲学科・音楽学学科・音楽教育学科・ヴィルトゥオーソ学科・音楽環境運営学科は平成 29 年度より募集停止。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://secure.musashino-music.ac.jp/files/3515/5555/5255/Syllabus_2019_department.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	武蔵野音楽大学
設置者名	学校法人 武蔵野音楽学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.musashino-music.ac.jp/guide/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益財団法人 理事長	2017.4.1～ 2020.3.31	法人運営全般
非常勤	一般社団法人 常勤顧問	2017.4.1～ 2020.3.31	法人運営全般
非常勤	弁護士	2019.3.1～ 2022.2.28	法律関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武蔵野音楽大学
設置者名	学校法人 武蔵野音楽学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスは、授業担当教員が示された記載項目・記載内容・記載方法等に基づき作成する。各教員から提出されたシラバスは、それぞれの教員が所属する「部会」、学科長による記載内容等のチェックを経て、最終的に作成担当部署が点検をして完成する。 シラバスの記載項目は、「授業科目」「開講年次」「組」「一週間の授業時間・時限数」「単位数」「担当教員名」「授業の到達目標及びテーマ」「授業の概要」「予習・復習等の内容・時間」「学生に対する評価(到達目標に基づいての評価)」「テキスト」「参考書・参考資料等」「授業内容」であり、カリキュラムポリシーに則り、それぞれの授業科目の特性に応じた内容で作成している。 また、「実務経験教員による授業科目・担当教員」については、巻末に一覧表で掲載している。 シラバスは、毎年、新年度開始前に作成し、同時に本学ウェブサイトで公表している。	
授業計画書の公表方法	http://secure.musashino-music.ac.jp/files/3515/5555/5255/Syllabus_2019_department.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 【単位修得の3つの条件】 ① 所属する学科・コース・専修別に定められているカリキュラムに基づき、シラバスを参考にして履修する科目を選定し、所定の期日までに履修登録をする。 ② 履修した授業科目について、シラバスに示す到達目標に基づき、実技試験・筆記試験・レポート等により学修成果を把握し、あらかじめ示した成績評価基準に基づき、クラス授業科目及び実技科目ごとの点数区分に応じ、「S」「A」「B」「C」「D」で評価し、「C」以上を合格として単位修得を認めている。 ③ ただし、履修登録した授業科目について、実施された授業回数の3分の2以上(集中授業は5分の4以上)の出席がない場合は、所定の試験に合格した場合であっても、単位修得は認めていない。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価の客観的指標としてGPA (Grade Point Average) を使用しており、履修登録した科目 (教員免許課程・学芸員課程の科目は対象外) における1単位あたりのGPAを算出し、奨学生・諸代表の選考に利用するとともに、学年毎の成績分布状況について統計整理している。また、学生個人のGPA値を学修成果の指標の一部として客観的に把握し、下位4分の1程度に位置する成績の学生に対しては、個別に指導を実施する。 算出方法は次のとおり。 ○成績評価をGPに置き換え 「S」: 4、「A」: 3、「B」: 2、「C」: 1、「D」: 0、単位未修得: 0 ○年度のGPAの算出 $\frac{\text{「S」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.musashino-music.ac.jp/index.php/download_file/3788/330/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学のディプロマポリシーは、以下のとおりである。 武蔵野音楽大学音楽学部 (学士課程) の目的に基づき、4年以上在学して124単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士 (音楽) の学位を授与します。 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力 (演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力) を身につけている者。 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。 3 自ら考え、創造する力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。 上記の本学ディプロマポリシーに基づき、各学科・コースにおける専門的な能力や思考能力、創造力、判断力等が身に付いているか、卒業演奏、卒業作品、卒業論文等で総合的に判断し、基準を満たしているかを教授会で審議し、学長が卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department2017/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	武蔵野音楽大学
設置者名	学校法人 武蔵野音楽学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.musashino-music.ac.jp/guide/public_information/managerial_finance/
収支計算書又は損益計算書	http://www.musashino-music.ac.jp/guide/public_information/managerial_finance/
財産目録	http://www.musashino-music.ac.jp/guide/public_information/managerial_finance/
事業報告書	http://www.musashino-music.ac.jp/guide/public_information/managerial_finance/
監事による監査報告(書)	http://www.musashino-music.ac.jp/guide/public_information/managerial_finance/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 音楽学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department2017/ ）
（概要） 武蔵野音楽大学音楽学部は、本学の教育方針「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に基づき、専攻分野における専門的知識と技術を修得させるとともに、共通の基礎専門教育としてソルフェージュ・音楽理論・西洋音楽史等の基礎的知識、ならびに広い視野に立って総合的な考察をするために必要な教養科目（保健体育を含む）・外国語科目を教授研究します。また、さまざまなコンサート・オーディション・研究発表等の実践活動への参加、ならびに実習・課外学修・インターンシップ等の現場体験を積ませます。 これらの教育研究を通じて、思考力・判断力・表現力を磨き、芸術的創造力を養い、さらに、専門家を目指して真摯に音楽活動に取り組む意欲を高めて、演奏家・作曲家・研究者・教育者・芸術活動に関わる企画・運営等に携わる者として、多様な社会の要請に応え、文化芸術活動に貢献する人格豊かな人材を育成することを目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department2017/ ）
（概要） 武蔵野音楽大学音楽学部（学士課程）の目的に基づき、4 年以上在学して 124 単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士（音楽）の学位を授与します。 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力（演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力）を身につけている者。 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。 3 自ら考え、創造する力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department2017/ ）
（概要） 武蔵野音楽大学の教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を具現するため、音楽学部全 2 学科に、必修科目、選択科目、自由科目を開講し、各コースの教育目的に合うよう、以下のようにカリキュラムを編成します。 1 授業科目は原則として 4 学年を 8 つに区分したセメスターごとに開講し、各専攻分野に求められる知識、能力等を段階的、体系的に修得できるよう編成する。この際、教養科目は必修科目および自由科目の一部として、全学年を通して履修を可能とする。 2 専攻実技科目については、個人レッスンにより技量の向上を図るとともに、さまざまな研究発表・演奏等の機会を設け、実践的な体験を積ませる。また、成績評価は実技試験等の結果を踏まえ、別に定めた評価基準により行う。 3 クラス授業科目については、開設科目の特性および到達目標を踏まえたクラス編成による授業を通して、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を重視した教育方法を積極的に導入する。また、成績評価は定期試験等の結果を総合的に勘案し、別に定めた評価基準により行う。 4 教育的見地から、年次ごとの履修単位の上限を定め、かつ 3 年次への進級に際しては修得すべき単位を定めた進級基準を設ける。

<http://www.musashino-music.ac.jp/entrance/department/outline/>)

武蔵野音楽大学の建学の精神「〈和〉のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備えた者を、各コースの専攻別科目、共通科目、面接、調査書等による多面的・総合的な入学試験によって選抜します。

- ## ②教育研究上の基本組織に関すること

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
音楽学部	－	35 人	14 人	18 人	人	人	67 人
	－	人	人	人	人	人	人

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	212 人	212 人

(教員データベース等)	http://www.musashino-music.ac.jp/graduate/guest/
-------------	---

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
音楽学部	310 人	232 人	74%	1,240 人	934 人	75%	若干名人	1 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	310 人	232 人	74%	1,240 人	934 人	75%	若干名人	1 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
音楽学部	205 人 (100%)	48 人 (23.4%)	102 人 (49.8%)	55 人 (26.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (23.4%)	人 (49.8%)	人 (26.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

シラバスは、授業担当教員が示された記載項目・記載内容・記載方法等に基づき作成する。各教員から提出されたシラバスは、それぞれの教員が所属する「部会」、学科長による記載内容等のチェックを経て、最終的に作成担当部署が点検をして完成する。シラバスの記載項目は、「授業科目」「開講年次」「組」「一週間の授業時間・時限数」「単位数」「担当教員名」「授業の到達目標及びテーマ」「授業の概要」「予習・復習等の内容・時間」「学生に対する評価（到達目標に基づいての評価）」「テキスト」「参考書・参考資料等」「授業内容」であり、カリキュラムポリシーに則り、それぞれの授業科目の特性に応じた内容で作成している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

履修した授業科目の到達目標に基づき、実技試験・筆記試験・レポート等により学修成果を把握し、あらかじめ示した成績評価基準に基づき、クラス授業科目及び実技科目ごとの点数区分に応じ、「S」「A」「B」「C」「D」で評価し、「C」以上を合格として単位修得を認めている。

ただし、履修登録した授業科目について、実施された授業回数の3分の2以上（集中授業は5分の4以上）の出席がない場合は、所定の試験に合格した場合であっても、単位修得は認めていない。

ディプロマポリシーに基づき、各専攻・コースにおける専門的な能力や思考能力、創造力、判断力等が身に付いているか、卒業演奏、卒業作品、卒業論文等で総合的に判断し、基準を満たしているかの判定を行ない、教授会で審議を行ない学長が認定する。卒業を認められた者には、学士（音楽）の学位を授与する。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
音楽学部	演奏学科	124 単位	有・無	単位
	音楽総合学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.musashino-music.ac.jp/guide/facilities/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
音楽学部	演奏学科 器楽コース 声楽コース	1,390,000 円	150,000 円	670,000 円	その他は施設費
	演奏学科 ヴァルトウオーゾン コース	1,490,000 円	150,000 円	670,000 円	その他は施設費
	音楽総合 学科	1,360,000 円	150,000 円	670,000 円	その他は施設費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 各年度の始業時に履修に関するガイダンスのほか、進級、進学、就職等に関するガイダンスや説明会を実施している。前期・後期の履修計画を立てる際や在学中の海外留学等の場合等の履修に関する相談窓口を設けている。また、授業科目の内容や勉強方法等の質問や相談について、クラス授業を担当する全専任教員が個々に対応するオフィスアワーを設けており、学生は必要に応じて随時利用することができる。 本学独自の返還義務のない奨学金制度を設けており、入学試験の成績優秀者、在学時の成績優秀者、音楽活動等における成果を挙げた学生、家計急変により学業継続が困難になった学生等に奨学金を授与し修学の支援を行なっている。更に自然災害罹災時の学費減免制度や経済的負担を軽減するためのさまざまな特典を設けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路指導プログラムにより、個々のニーズに対応した支援・指導を行っている。このプログラムでは、年次ごとに全員を対象とした個人面談、各種就職支援セミナー、業種別ガイダンス、教員免許課程履修ガイダンス、教職教養講座、論作文講座、面接指導等を実施し、これらを通じて、具体的・実践的なアドバイスを行ない、スキルアップを図っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室常勤職員、学校医、専任教員のカウンセラーによる健康相談、健康管理指導等を行なっている。また、ハラスメントへの防止や問題解決のための相談窓口を設けている。 学校保健安全法の定めるところにより、学生の健康管理のため、毎年度始めの定期健康診断のほか、感染症の発生時や飲食物の調理従事者の保菌検査等、臨時の健康診断を実施している。 在学中の学生生活をバックアップする観点から、全学生を対象に「学生教育研究災害傷害保険（通学特約を含む）」に、大学として加入している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.musashino-music.ac.jp/graduate/departments2017/>